

令和2年 第4回 三朝町教育委員会 臨時会 議事録

開 会 日	令和2年10月15日(木曜日)
開 催 場 所	三朝町役場 第2会議室
出 席 者	西田寛司教育長 芦田準子委員、塩谷俊樹委員、石田仁樹委員、加藤るみこ委員
欠 席 者	なし
説明等の出席者	山中教育総務課長、小谷指導主事、福田教育総務課係長
報 告 事 項	今回はなし
議 事	今回はなし
協 議 事 項	小学校施設整備について

会 議 の 内 容

- 1 開 会
教育長
午後3時30分
令和2年第4回三朝町教育委員会臨時会を開会します。
- 2 議事録
の承認
前回の議事録承認につきましては、石田委員と芦田委員に確認をさせていただいております。
- 3 議事録署名委員
の指名
本日の議事録署名委員は芦田委員、加藤委員を指名いたします。
- 4 報告事項
教育長
10月10日小学校運動会午前中で開催、コロナの関係で遅れましたが無事にすることができました。10月13日に倉吉陸上競技場で中部の中学校の駅伝大会が開催されました。周回を決めて走り、タイムの合計で競いました。三朝中では男子が6位、女子が11位で、男子は11月11日に米子の東山で開催される県の駅伝大会に出場が決まりました。10月14日は危機管理局長が小学校を訪れ防災の出前講座を開催しました。NHKのニュースで放映されました。10月15日もNHKで、三朝小学校の校歌の関係で放映されます。
会の終わりに令和2年度の東伯地区・倉吉市教育委員会合同研修会の出欠状況を確認を行いたいと思います。
- 5 議事
今回はなし
- 6 協議事項
小学校施設整備について
教育長
事務局
事務局から説明をお願いします。
(資料により説明)
 - ・基本設計について
 - ・三朝小学校施設等整備基本計画案について
 - ・パブリックコメントについて

教育長
教育委員

何かありますか。

2点あります。2ページ、この文書は何が目的なのかわかりにくい。2番のところは書く必要があるのか。3ページも①から④まではほとんど内容が同じだと思う。①の児童生徒に対する継続的な指導②の系統性・連続性の違いをどういうふうにとらえているのか。小中一貫の流れで一定なのかなどという風に思う。取組内容についても例示としていてこれもどうかと思う。これが表現がわかりづらい、同じようだったところですよ。

教育長
教育委員

どうかと思ったのはどういうところかもう一度。

3ページ目の①から④までの内容が同じ。取組内容として例示をしての説明について、考察するものとするとしてあるので、まだ考察していない段階で書かないほうがいいと思う。2番目として、この基本計画のどうしても言いたいところが一番はこのバックグラウンドが何かということ、校舎施設のコンセプトが何かということ、3番目に5番に書かれている施設整備計画、そして、6番の事業計画があれば、この計画はいいのではと思う。あとは、どうしても、皆さんがご存じなことなので、4番の概要は一度出ていることなので、もし載せるとしたら別添資料として作られたらどうか。この4点があれば事業計画として、コンセプトが伝えることができる、はっきり皆さんに伝わる計画書になるのではと思う。

事務局

基本計画は町民皆さんに説明するのに、教育委員会として今まで議論を重ねてきたことを、教育委員さんはわかっておられますが、わからない方もおられますので、最初から経過が書いてあったほうがわかりやすいと思います。

教育委員

内容が不明瞭。書いてあるけど、目的にしても示すのが目的なのか、基本設計の基礎としているのが目的なのか、何が目的かがわかりづらい。結局本計画の目的は何ですか。

事務局

1ページに経緯を書いているが、その中で検討が行われており、将来のことを考えながら小中の連携をするのが大事だ、みささっ子教育ビジョンを作ってそれを具現化して、基本設計の内容と併せて小学校の施設設備と中長期的な三朝町の学校施設整備の方針を示すのが目的です。

教育委員

わかりにくい。経緯についても、いきなり「児童数の減少による行き過ぎた」とかというのを書かれているが、この表現はどうなのか。全体的な印象として、もっと人に伝わるような文章にしないとイケない。それならば別添で以前の経過をつけて、この計画の背景とコンセプトをはっきり書いた方がわかりやすいと思いました。しかも目的の一番最後の「本計画の性格」というところで「今後」と書いてある。「示すものです」と書いてあるけど「今後こうしますああします」というのもとってもわかりにくい。もっとスッキリまとめられた方がいい。一番大事な「なんでこの計画を立てたのか」というバックグラウンド、そしてこの学校と設備のコンセプト、どういうコンセプトで向かっていくのかということをしっかりまとめて書かれた方が、この計画の目的からしたらいいと思う。とても文章がわかりづらい。

教育長

私の意見を言わせていただくと、みささっ子教育ビジョンを具体的に実践する場として教育環境を整備しようという、それを整備基本計画としてお示しし、議論を重ねていただき、その後実施設計ということで具体的にどうやって建てるかという設計書を作る。その中で積算されたもので総事業費なり、どういうものを使うかという具体的なところまで決まる。今この基本計画の目的はみささっ子教育ビジョンを具現化しようとするものである」ということは間違いのないと思います。「本計画の性格」というのも示してあって「学校施設等の整備を進める上の指針」である。言葉が足りないとする、

今後実施設計云々を進める上では「こんなことも詳細に設計していかないといけない」ということが書いてあるのであって、ここの中で「今後の事」というのは実施設計の所を指しているのではないかと私は読んだのですが、どうですか。

事務局
教育長

そのとおりです。

バックボーンというのはわかりにくいのですが、「みささっ子教育ビジョンを実現していく場」ということで、施設整備ということをやっている。他の皆さんの意見も聞いてみたらと思います。

教育委員

私の考えでは今教育長の言われた「みささっ子ビジョンがより充実するための施設整備の必要性」というのはコンセプトの中でとても大事なことなんですけど、それにプラスして少子化によって教育形態が変わろうとしている。それを実現させるための校舎もコンセプトに挙げていかないといけない。もう一つ、小中が一体の校舎となるのであれば「三朝町の新しいシンボルとなるデザイン」というのもコンセプトに挙げた方がいい。この3つがコンセプトになると思う。そういうふうにはっきりまとめられた方が、その中で「そういう教育形態ができる校舎」ということでその中を書いていく、「みささっ子教育ビジョンがより充実するための必要性がある」ということでその中身を書かれる、という形でやられた方がいい。ごちゃっとしていて

教育委員

よろしいですか。多分言われていることと、委員さんが思われていることは一緒だと思う。ただ読む方がスッと入ってきにくいので、さっき言われた言葉が入ると見ている方も落とし込みやすいと思う。思われていることは間違っていないと思うので、そこら辺の整合性だと思う。

教育長
教育委員

他の委員さんはどうでしょうか。今の議論について。

全町民に示すんだしたら、みささっ子教育ビジョンを見たこともない人もいるだろうし、元々の教育基本計画も知らない人もいるだろうから、よく知っている人が見ればまた同じことが書いてある、何回も何回も、ブレずに書いてあるからいいんだろうけど、そういうふうには思うかもしれないけど、見たことのない人もいる。そういう人はいないかもしれないけど、こういうみささっ子教育ビジョンのもとがあって、これに基づいてこうやってますというのがいいかもしれない。これが最初の方に出てきて、もういっぺんこう来るようになってるから、例えば改めて言うこと、新しく基本的に言うことを最初の方に言ってきて、もし教育ビジョンを参考にするのなら、あとの方でみささっ子教育ビジョンというのはこういうものだという概要というか、基本的に書いてありますよということを書く。どこかで教育ビジョンのことを引用するなら「教育ビジョンより何々する」と簡単に書いておいて、そういうことが欲しいなら後ろを見てくださいねということでも足りるんじゃないか。ここで教育ビジョンをその都度入れていくとそれにとらわれてしまう。この基本計画そのものが小学校を建てるということが大きな目標なので、それを表に出して。だから引用資料は後ろの方で引用させておけばいいと思う。「見てください、そこに書いてあります」ということで「教育ビジョンからこういうことやることにしました」ということにする。まだ計画だから、案の段階だからこれからどう変わるか、色々な意見を踏まえて変わるんだろうけど、変わってもいいと思います。今のところの基本計画としてはこうですと、小学校を建てるんだというコンセプトをはっきりと明記しておいた方がいい。もらった時にいっぱいページがあると思って読み始めたが、どこで取り組みが出てくるかと思ったら途中から「こういう学校を建てるのは」と入ってきたので、僕もそういう感じはしました。もうちょっと簡単な計画でもいいんじゃないかなと思いました。

- 事務局
この計画書は厚いんですけど、先ほど言われたようにみささっ子教育ビジョンを後でということもあるが、見られていない方とかもおられるのでこういうようなつくりにさせていただいている。町民への説明会を開催するときには、これの概要版を作成してわかりやすいようにしたいと思っているが、計画自体は最初から目的があつて方針があつて課題があつて候補地はどうやって選定したかというのを一連の流れでこの計画書を作らせていただいた。
- 教育委員
説明会に概要を持って行って、「基本計画は他にありますが、概要です」と出されて、概要だけ見て納得してもらえるのか。概要を基本計画にすればいいのでは。概要を作るんだったら、その概要を基本計画にしまえばいい。その計画を見せてあげないと、「計画は作ってありますが、今日は概要だけ持ってきて説明しました」といって2、3ページ作って「他のことはどこかに書いてあります」みたいなことになってしまうと、また説明会で「本当の基本計画というのは何だ」ということになる。概要を基本計画にすればいい。
- 事務局
イメージしているのはみささっ子教育ビジョンが作られて、詳しく書いてあるのとは別に、概要版が作られて配られている。そういうイメージをしている。
- 教育委員
それもちよつと違うと思う。あれはビジョンなので概要版があつてもいいけど、これは計画書なので概要版というのはいかがなものか。シンプルに誰もが何があれかというのが最初からスツとわかる計画書、あとから別添の方が絶対にわかりやすい。町民全体に配るのであれば、よりシンプルな方が内容を把握していただきやすいんじゃないか。それが私たちがしないといけないことじゃないか。伝わらないと意味がない。作る以上はしっかりなんで作るのか、どういうコンセプトなのか、そしてどういうふうな、この5番と6番、そこがあれば、あとは別添で読みたい人は読めばいいし、わからなかったら読めばいいし、でも一番伝えたいことって何かといった時に、基本計画の一番大事なところは何でこの計画を作ることになったかというバックグラウンドと、そして校舎建設のコンセプトじゃないですか。あとのものは知らない方は別添でつけばいい話だと思う。皆さんに配るなら。例えば教育関係者に配るとか、よく知っている議員の方に配るといふのなら話は別だが、今事務局が町民全体に配るといふふうに言われたので、よりその方がいいんじゃないか。
- 教育長
口を挟みますけど、たぶんこれは委員さんとか議員さんとかそういう方々に配るけど、町民の皆さんにこれを全部配るといふ気持ちはなくて、概要版というさっき話をした教育ビジョンのように見開きのものでわかるものを出して、さらに詳しいことをお知りになりたい方は図書館なりそういう場所に置いておきますのでご覧くださいという話です。
- 教育委員
背景とコンセプトと、5番と6番の所があつて、概要版じゃなくてそれを作つて、別添仕様であとのものを作たら、何かいけないことがありますか。一番伝えたいことは何ですか。
- 教育長
5番と6番は、具体的なものなんですよ。それで、この基本整備計画は何なのというのが計画の概要になっているわけです。
- 教育委員
バックグラウンドでしょう。
- 教育長
バックグラウンドというか、この計画書の概要。このものについてだけ。バックグラウンドとしては現状と課題と、今までの三朝町が歩んできた教育をどうするかというのがバックグラウンドだと思つてます。
- 教育委員
耐久性の問題、建物の10年以上たったということが大きいんじゃないで

すか、一つに。それで、同時に建てるのはやっぱり経済的な問題というものがあって、今度一体型にするという、校舎が50年以上過ぎて、将来20年30年先は無理だろうということできずと議論されていたじゃないですか。だから建てるという方向に向いていることと、もう一つは、三朝町の児童生徒の減少によって今までよりもより教育効果を高めるために、小中連携という教育形態の必要性があるから、その小中連携をより充実させるためにふさわしい校舎を建設する必要があるというのがバックグラウンドじゃないですか。

教育長
教育委員

それがコンセプトであり目的なんです。

それはバックグラウンドでしょう。コンセプトは「小中連携等の教育形態が実現できる校舎を作ろう」ということと、「三朝っ子教育ビジョンをより充実させるための施設を作ろう」ということと、「将来を担う子どもたちが通う学校を三朝町の新しいシンボルとする」というその3つだと私は思います。

教育長
教育委員

それは整備の目的ですよ。

そうです。それでバックグラウンドは古くなったということと、どんどん減少するというので、大きい校舎が2つも今まで以上にいないから一体型の方がいいんじゃないかということですよ。

教育長

設備も古くなっていて、今日の教育に対応していない、だから新しい校舎にする、それはみささっ子教育ビジョンでうたっているものを実現するための施設ということです。その表現の仕方のことだと思う。

教育委員

それを正確に並べているところがないという感じがする。分けて書いた方がいいんじゃないかと思う。

教育委員

たぶん教育委員会の方はパブリックコメントのことに対する答えというものを入れなくてはいけないという思いがあり、ここに詳しく書いておかなければならないという考えを持っておられるということ、それから委員さんの方は、説明会の時に誰が来られるのかわからない、私たち元教育関係者とか、あるいはこれまで会議に参加された人だけじゃなくて、いろんな方が来られるので、スッキリしたもの、その時間内に話ができたり、当日来た時にイメージできるものを提供してほしいということだと思うんです。ですから特に説明会のことをイメージして、誰にもわかりやすい資料を作るということはとても賛成です。それで前の方は別添でと言われたのは、それを知りたい方のためにそこの所の説明のこれは「はじめに」のところに書いてあるようなこととか「基本方針」とか「現状と課題」に書いてある別冊のここの所です、ここの所についてこう説明してますよということを知りやすく示してほしいということだと思います。私もはっきり理解ができませんけど、字が多すぎるというのがあって、さっき言われたように例えば「このことはこうなんです」と書かれて、というのはということの説明を下に書かれていけばとてもわかりやすいということで、当日を想定してしっかり町民、例えば小中学生でも町民全体に伝わるような、そういう提案の仕方があるんじゃないか。これは書いてあることを否定するんじゃなくて、別の資料としてこうなんですよと明示していくということは何ら違わないと思うんですけど、やはり行政の立場と一町民としての立場の考え方の違いで、町の方はたぶんこういうものに見慣れておられると思うんですけども、町民、私たちは、今まで琴浦町の方で介護をずっとしてたもので三朝町のことはイメージできてない者にとっては「で、それでどうなの？」と。さっき言われたようにここからが今回の方針だよという感じで、知らなかったのでフムフムと読むのはいいんですけど、説明会だったらこっちの方をもう少しわかりやすくして、別の資料としてイメージさせて「今ここのことを話してるんです」

というふうに説明された方が対比させて説明できるし、論議も深められるという意味で方向は一緒ですし、全然違ってないかなということです。だから日本本当にわかりやすいものを作ってほしいと言っておられるだけのことなので、そこは別冊でされても何ら問題はないと思いますというのが、聞いていて感じたことでした。

教育委員

町民に何を説明するのか。「小学校を建ててもいいでしょうか、建てた方がいいと思うんですけどどうでしょうか」と町民に聞くのか、「こういう小学校を建てる計画です。皆さんどうですか」と小学校を建てる前提で話をするのか、「小学校を建ててもいいでしょうか、いけなかったらやめますよ」という話になるのか。「いやいや、それでもこういう取り組みしてきているからやめるわけにはなりませんよ」という討論になるのか。「こういう計画ですので小学校に関する建設について周りの意見をください」という説明会をするのか。もし「もう建てるなよ」という話が出てきたらハイハイと聞くのかどうか。「いやいや、建てるんですよ」と言うのか。もう建てるんですよ、小学校。建てるんだったら「建てます。こういう小学校です」という、はっきりと明記しちゃった方がいいじゃないか。それについて「前向きなご意見を」みたいなの。意見交換するのか、するんだろうけれども、しないのか、「またご意見があれば」という話なのか。

教育委員

町民に今度するときの資料もこれで行かれる？

教育長

基本的にこれがベースになって、だからこれは厚すぎるからこの中身をかいつまんで重要な所だけさっきおっしゃったような、ちょっと例示が難しいですけど、こういうようなコンパクト版を。

事務局

もうちょっと直すんですけど、その中でここだけはこのことを。結局まだ先ほど教育長の方も申し上げたんですけど、教育委員会としては建てたいという方向では行くんですけど、反対されてる方もおられますので、こういう課題もあり現状もあるのでということを知りやすく説明も必要かなということと、中身についても別冊と言われたらそうかもしれないですけど、計画の中に入れてさせていただいたということです。

教育委員

概要版って、結局これでわからないのにならわかりますか。もっとスペースを全体的に、スッキリされないと本当にわかりにくいということを私は一生懸命言っている。結局概要版だから「はじめに」からずっと全部あるでしょ、5番までが。そうじゃなくて、例えば大事なことは何ですかということから始まった方がいいんじゃないですかということをお願いしている。

教育長

章立てを、「整備計画はこういうものです、こういうものを作ります、それはこういった背景があったからです」ぐらいの書き順で行った方が入りやすいんじゃないかと。

教育委員

正直に言って、あんないっぱい文字があるのって、やっぱりわからないです。

教育長

今お見せしたのは、コンパクト版という。

教育委員

結局内容的には章立てがたくさんあるのは変わらないでしょう。じゃなくて、章立てを4つくらいにして、あとは別添でいいんじゃないですかということ。伝わらないと意味がないですよ、資料って。何のために計画書を作るんですかと言った時に、自分たちの満足で作るんじゃないかって、これじゃあ町民もわからないし議員の方をもってわかりにくいと思うので、誰が見てもわかりやすい資料を作るということを意識して、資料とか計画書というものは作っていかないと、結局読んでもらえなかったら意味が無くないですか、作って。

教育長

要は趣旨が伝わらないと、何をしようとしているのか。

- 教育委員 そうなんです。せっかく作ろうとしている、努力をされているのに、伝わらなかったら意味が無いじゃないですか計画書って。
- 教育長 ちょっと整理したいのが、今内幕を言ったものですから、これの必要性というのもお判りいただけたかなという気がしてます。それで町民に向けて説明するときにはこれをコンパクトにまとめさせてもらいました、これでわからないことがあったらこれをお渡ししますから読んでください、とりあえずこれをもって説明させてもらいますよというような説明会をしようとしている。それが今は章立てが全くこれの縮刷版みたいなものになってるから、ちょっと順番を意識して、はっきりどういう小学校にするかということを中心に置いたコンパクト版にしようという、そういう趣旨でよろしいでしょうか。今のお話を総括すると。
- 教育委員 あっちを直すならこっちも章立てを直して統一した方がいいと思いますよ。これだとたぶん伝わらない、言いたいことが。せっかく作ってるのにもったいないです。伝えないもったいない。せっかくこんな一生懸命作られて、時間かけて作られたと思うんです。ほんとに伝えるということ意識して、誰が見てもこうなんだってストーンと落ちるものを作って提示された方がいいのかなということ最初から言っています。
- 教育長 万人が納得するものはできないという前提なんです。できないんですよ。ただ章立てとしては議会を意識したりしながら、こういうものを作らせていただきました。町民向けにはこれじゃあおっしゃるとおりわかりにくい、だからコンパクト版という、概要版というかそういうもので説明用の資料としてこれを作り変えて、必要であればどうぞご覧くださいというふうに出せるようにするというやり方です。
- 教育委員 資料を見る人の立場が違う。町議会の方と町民と立場が違うので、それを一つの資料で済ませていこうというところに一番無理があるんじゃないかなと思う。もし町議会にかけられるんだったら、町議会にかけて通せるものを出す、町民に説明するんだったら、町民にわかりやすいものを作成して町民に提示する、結局はそこなんじゃないかなと思う。今聞いてますと、議会も通ってないので、そのためのものと言われたので、これで通ると思っておられたらこれで行かれたらいいと思いますけど、これを縮小しただけのものでは町民には伝わらないので、もっと吟味して作ってくださいよと言っておられるだけのことなので、まずは一段議会を通す資料をきちんと提示する、提示して通す、それから町の方のは町の方で、もう少しこれを吟味して、ほんとに誰が見てもわかりやすいものを作っていく。例えばパワーポイントみたいなもので概要をしておいて下にちょっと書いてあってというようなものでもいいと思いますし、1枚で裏表にまとめられなくても、わかりやすい資料だったら何枚かになってもいいと思います。当日使えるものを作られた方がいいんじゃないですか。話を聞いてると両方通しちゃいたいというところに一番の無理があるかなという気がする。委員さんの言うておられることは「本当に伝えたいのでそういうものを作ってほしい」ということが根本なので、伝えるものを作ってほしい。だから町議会に伝えるもの、町民に伝えるものを作られたらいいんじゃないかなと思いました。
- 教育長 縮小版になっちゃってますから、概要版ということでどういう小学校を建てる計画を作ったのかというのがわかるようにするということですよ。
- 教育委員 よく研究会などでやっちゃうんですけど、わかってほしいからといっていっぱい資料を作って説明するんですけど、「いったい何が言いたかったの？」ということになっちゃうので、そうじゃなくって「私が今日言いたいのはこちらです。こうこうこうなんですよ」ということを言って「資料はここ

なんです」とか「何ページのこれを、今ここをしゃべりました」ということの方が、町議会にしても、町民に対してのアピールにしても通ると思う。だから親切にした方が通るかというところではないという気がします。親切にしすぎちゃって。

教育委員

私も同じで、町議会にしてもこれは文字が多すぎるし、町議会だからこそ伝えたいことをちゃんと伝えないとわかってもらえない。熱い思いを持っているんですよということを、なんで建てるのか、何のためにするか、どういうコンセプトなのかというのが一番計画の中では大切なんじゃないかというふうに思ったので、私も同じです。

教育委員

言われなかったためにそういう資料を作るのではなしに、言われたときに「そういう考え方もありますね」といって切り返すとか、「そのことに関しては資料の何枚目を見てください、資料の1の何を見てください、このことなんですよ」といっていったん受け入れた形にした方が当然だと思いますし、全部最初から親切にやらない方がいいですよ、わかりやすいですよ、伝わりやすいですよということだと思っているので、手法的なことになってきちゃうんですけど、だから資料の性格、何のために誰のためにどういう目的でこれを作ったのかというところかなと指摘しました。

教育委員

そのとおりだと思います。何のために作るのかってわかっていただくために作るの、私も同意見です。そう思います。

教育委員

今計画の年次を見ているんですけど、2年度の終わりくらいに実施設計が入るような形になってるんですけど、議会で承認されないと実施設計に入らないよね。まだされてないよね。

教育長

教育委員

そうです。まだされてないです。

それを承認してほしいんですよ、議会で。議会で承認してほしい、議会は町民の代表で来ているんだから、町民に納得してほしいということになる。そのために説明会を開くんですよ。これからその3月、いつ議会の承認になるのか、いつの議会なのか、何月に承認してほしいの。

事務局

教育長

教育委員

22日に承認というか説明、協議をかけます。

ですからね、これは議決案件でも何でもないので。

今教育委員をして、竹田の区長とかに「小学校いつ建つ？ いつ頃建つ？」という話と「どこに建つ？」という話をされる。中学校の辺りにどうのこうのという計画を立てていると言ったら「小学校と中学校が一緒になるのか」と言われる。誰も「小学校は建てるな」という話はない。「西小でいい」という話は少し前にはあったが、新しい校舎がいつ建つのか、どこに建つのかという話を聞いてこられる。そういう説明が欲しいのだ。教育ビジョンがこういうことになっていく、こういうことで建てるということは全然誰も興味がない。

教育長

興味がないけど、言えないんです。誰が約束できるんですか、ここに建てるって。という話だから、合意を取って「どこかはわかりません」と言うしかない。「どこかはわかりませんが、この辺に建てるでしょう」「じゃあここに建てます」、議会の皆さんも「ならいいよ」と言ってくれたタイミングというのが条例改正、そこまで合意を形成していく。だから町長がここに建てたいと表明したんですけど、決定ではない。議会が承認しないと建てさせてもらえない。だからとにかくコンセンサス、合意を得る努力を教育委員さんも一緒になってしまおう、その説明する基礎なのがこの基本整備計画、これに基づいて説明しましょうということになると思います。

事務局

ですから、わかりにくいのかもかもしれませんが、まだ候補地についても反対されている方もおられる中で、こういう課題がありますよとか、そういう

ことをきちんと書いて、通学路についてもものすごく心配されている方もおられますし、場所のことについてもどれくらいの大かさかということも多くの方が、教育委員さんの方にも言われているかもしれませんが私たちの方にも来ます。それをまとめたものがこの基本計画であって、よくわかっておられる委員さんにとってはこんなことまでと思われるかもしれませんが。

教育委員
教育長 それならよりわかりやすい文章で書いた方がいいと思います。

教育委員 言われるニュアンスはわかるけど、正確に伝わらないというか。というのは、町の総合計画とかも最近文章が短くなったんですけど、そうは言ってもこんなような文章なんですよ。

事務局長
教育委員 こんなようなじゃなくて、言いたいことが伝わらないです。そこなんです。私が言った3ページの教育的効果を4つ挙げているけど、どういうふうに違うのかと思う。「継続的な指導」というのと、「系統性・連続性を意識した教育」とどう違うんですか。③の「中1の壁・小中ギャップの緩和・解消」も同じように思う。継続的にするなら。④の「異学年交流による精神的な発達」もそりゃあそうでしょう、そういうふうにするんだから。全部同じことの書き換えでしょう。そういうふうにしたかったらもっと内容を変えないといけない。

事務局長
教育委員 私たちはこれでわかりやすいと思って書かせていただいたんですけど。じゃあどう違うのか説明してください。「継続的な指導」と「系統性・連続性を意識した教育」とどういうふうに違うんですか。分けて書かれている意味は？ どう違うのかという意味を説明していただけるとありがたいです。私わからないので。同じことだと思うので。

事務局長
教育委員 ここに書いてあることでわからないなら、逆にどういうふうに書いたらわかりますか。

教育委員 小中連携について私たち議論してない段階で、似たようなものを4つ並べるなんてことはとっても危険なんじゃないかと思うんですよ。今この段階で例示するのも危険だなと思う。ここの所で今後まだ話し合う、深く考察すると書いてあるんだから、これ以上教育のことに触れなくてもいいんじゃないですかということです。

教育長
教育委員 小中連携については触れないということですか。将来小中連携を深めていきますという、そのための館にもしていきますということなんですが。

教育委員 ここの項で深く考察すると書いてあるので、やってない段階で出すのはとっても危険、突っ込まれるという気がします。

教育長
教育委員 今言われているのは2ページの(2)の「本計画の目的」の5行目ですね。4行目の終わり「町教育委員会では小中連携についてより深く考察することと合わせて今後の学校施設整備検討へ反映させるべきものだと判断し、基本設計の基礎としています」。で、「考察するとともに」と書いてあるから、そんなに深くは小中連携については触れなくてもいいんじゃないかという御意見ですね。で、私たちがもう少し議論して小中連携をまた紙にして皆さんに送るなり町報でお知らせするなりするから、3ページから4ページの…。

教育委員 (3)の意味が分からないです。基本理念って何ですか。これがコンセプトじゃないんですか。

教育長
教育委員 基本理念って言ってるけど、教育ビジョンです。

事務局長
教育委員 だから(3)もいらないんじゃないですか。資料さえ付ければ。だからこういうふうにはほとんど意味が、みささっ子教育ビジョンがより充実するような施設の必要性という意味でいいんじゃないですか。「みささっ子教育ビジョンより」でいいんじゃないですか。

事務局長 じゃあここは取りましようか。

教育長 基本方針の整備方針の括ってあるところまでは良しとして、(2)の「目指す小中連携」を簡潔にすると。(3)も「教育ビジョンの実現」とか、そういう表現でコンパクトにしてしまった方がいいのではないかという意見ですかね。

教育委員 結局私が言いたいのは、これをより分かりやすくするのが、バックグラウンドとコンセプトを分けるようにしたらいいんじゃないかということを一先懸命言っているんです。

教育長 だからバックグラウンドとコンセプトの意味合いが、どれとどれを指して…。

教育委員 背景。

教育長 いや背景という言葉はわかるけど、背景をどれに思っておられるかが、何を背景と。例えば僕だったら、背景って現状と課題だったり、経過だったり背景だったりするんですけど。

教育委員 背景というのは、基本計画を立てることになった背景のことです。

教育長 だから、現状こういうことがあって課題があるから、それを解決するための施設整備が必要ですよというのが僕が考える背景です。

教育委員 そうですよ。だから耐久性にも耐震性にも問題があるということが課題ですよ。

教育長 そうしたときに、私たちのやり方としては「現状と課題」で、これを解決するためにこの計画を作りますという章立てになっちゃう。というか、計画ってそうやって作っていくものですから、だから現状と課題を踏まえた方向性というのを出しておいて、「だからこういう計画を作りますよ、具体的には施設整備はゾーニングを考えてこんなのにします」というのが、説明としてはそういう説明になる。

事務局 先ほど言われた「小中連携による教育的効果」の①から④については、実はこれは文部科学省が示されていて、うちもこういう学校が教育的効果としてよいということで書かせていただきました。取り組み内容につきましては現在この7つを行っているので、言われるようにここは削除してもいい思っております。

教育長 ちょっと補足してほしいんだけど、「小中連携による教育的効果」の所は文科省の何に、小中連携の説明が書いてあるものの中にこういう効果があるよと書いてある？

事務局 書いてある。

教育長 それが何に書いてあるかをまた教えてください。それを引用したということ。

事務局 引用というか、うちにはこういう教育的効果があるのを目指してしたいということで小中連携のことを書かせていただいたんですけど、文部科学省の表現もわかりにくいかもしれませんので、そのあたりにつきましてはすみませんでした。

教育長 文科省のを引用したということですから、間違いではないんでしょうけど、今の論議の中でここを簡潔にして、今後考察するということですからもう少し…。

事務局 取り組み内容を消せばいいということですよ。

教育長 取り組み内容というか、①②③④も分析が違うと言われましたから、それは教育委員会で考えるとして、小中連携を進めていくということで、より教育的な効果が上がるようなことを目指すとか、そのようなことでまとめて、(3)も「みささっ子教育ビジョンの実現」というようなことで簡潔な文章にして、ここを圧縮させてもらおうと。

事務局
教育長 (3) はビジョンを作って公表してあるので削除しましょうか。

いや、「ビジョンの実現」と書いておけばいい。割愛だけど、それに基づいてするというのを念を押すということで。ほんとは「はじめに」にもあるからダブってる。「本計画の策定の経緯」の所に「みささっ子教育ビジョンの施策にこれがある」という逆の書き方がしてある。

事務局 ここは悩んだところなんですけど、(3) の基本理念の所は削除でもいいかもしれません。

教育長
事務局 基本方針の(3)か。

ただ説明するのに、再掲なんですけどこういう観点で作りましたよということで書かせてはいただいたんですが、ここは以前公表していますし、17、18 ページにそれに基づいてこういう校舎にしたということが書いてあるので、ここについては。

教育長
事務局 どこに書いてある？

みささっ子教育ビジョンに基づいて、例えば「ユニバーサルデザインの観点から、1～3階の全てのトイレに」とか。

教育長
事務局 17 ページの「1 階整備方針」の中にみささっ子教育ビジョンの考え方がユニバーサルデザインという表現で示している。

それとかコミュニティスクールとか、そういうようなことで書いてあるので、ここについては前に公表しているので。

教育長 そしたら最終的に整理しますけど、基本計画の(3)と(2)をコンパクトにして簡潔にまとめるということ、それから資料編にみささっ子教育ビジョンの概要版をつけるとか。

事務局
教育長
事務局 資料編というか、再掲なんでもういいんじゃないですか。

つけない？

ここはちょっと悩んでいたところなんですけど、教育委員さんにもいらないんじゃないかと言っていたのでここを消します。

教育長 (3) を削除ということですね。そしたら前の「はじめに」との関係性はひっくり返らないからいいということですね。で(2)の「本町の目指す小中連携」については簡潔な言葉で表現して、(3)は削除するというようにさせていただきますでしょうか。他にはどんなでしょう？

教育委員 さっき言われたコンセプトというのはどこから要約を。非常にわかりやすかったので、もう1回言ってもらえたら。

教育委員 小中連携等の教育形態が実現できる校舎。2. みささっ子教育ビジョンがより充実するための施設設備の実現。3. 三朝町の新しいシンボルとなるデザイン。というのがコンセプトかなと私は思います。

教育委員 中身は若干言葉が変わってもいいと思いますが、そういう形で入れ込んでもいいのかなと思います。コンセプトって日本語ではなんて言うんですか。

教育委員 ずっと終始一貫したブレない方向性。

教育委員 「本計画策定の趣旨」の中にコンセプトというのが入ってきた方がわかりやすいと思います。言葉がそれでいいかどうかは、もう1回精査されてもらって。

事務局
教育委員 どこに入れたらいいですか？

コンセプトという言葉がいいかどうか、日本語探そうと思ったけど出てこないし。

教育委員
事務局
教育委員
事務局 コンセプトといたら一貫した方向性の目的ですね。

だからこの目的がわかりにくいということですね。

もうちょっとよりわかりやすい方がいいんじゃないかと思ったので。

どういうふうだったらわかりやすいか、ちょっと示してもらったらありが

- たいですけど。もしよかったら。
- 教育長 教育委員さんが言われるのは、「目的」とせずに「整備のコンセプト」にしてそれを入れてと言われていたんですけど、私はさっきから言っているのは議会とかそういう形式的なことがあるから、とりあえずこれで網羅できていけばそれでお願いできませんか。それで概要版なりを作らせてもらって町民にわかりやすく、中身は変えるわけにはいきませんから同じものを作らせてもらったかどうかということ。ただデザインの話まで突っ込んで話をしておられるので、それはここに表現させているかな？ 三朝らしいという木をふんだんに使った校舎にしようというところはあるんですけど、意匠の方のデザイン、形の方のデザインと、素材のデザインでいうと、素材は含められるんですけど形がちょっと表現しにくいかなと私は印象を持ったんですけど。
- 教育委員 今「校舎をたくさん県外視察」というのを見ていたんですけど、やはりその町の特色を出したというかシンボリックになっているというのを意識されたところがすごく多かった。三朝町で新しくシンボルになるのはやっぱり学校なのかなと思うので、そういうところでやってほしい。どこにでもあるような校舎の形じゃなくて、三朝町という方向が出たらいいと思う。木でというのは無理にしても。
- 事務局 一応、ここの所が三徳山をイメージした形になっています。ちょっとわかりにくいですけど。
- 教育長 投入堂を意識したんだそうです。だけどそれは伝わらない。
- 教育委員 財政面でも、あまり描かないようなデザインの方がいい。
- 教育長 もう一つランニングという話もあって、メンテナンスがきく建て方なり、そういうのじゃないと長持ちしないというか、建てたはいいが修理ばかりするようになったりね。そのうち実施設計で細かく詰めていただくことになるんですけど。
- 教育委員 この「目的」という言葉は若干もう一つの感じだがそうするにしても、その下に「コンセプト」ということは入れられないですか。それを入れることによって、「コンセプト」ってやっぱり大きいと思います。
- 教育長 私は「コンセプト」と「目的」と「性格」とか「校舎の性格」とか「目的」とか、使い方が違うので、確かに「コンセプト」と書いた総合計画もあるけど、その時のこっちの書きぶりがまた変わってくるという印象を持っている。かつてしたことがあるから、どうです、福田君。
- 事務局 正直に申し上げますと、「コンセプト」という言葉はすごく難しい言葉で、人によって捉え方がすごく変わる気がします。例えばこの計画の中に「コンセプト」というタイトルのものを入れるとすると、2の「基本方針」という、ここがたぶん町として、この町の学校をこんなふうに整備しますというところを書いたのがこの青っぽい所になるのかなと思うんですけど、おそらくここより前に出てはいけない内容だと思いますし、かといって後ろに下がった内容でもないと思いますし、その立ち位置の加減がすごく難しいなと今聞いて思っています。
- 教育委員 そんな捉えようが多いものじゃなくって、ずっと終始ブレないそういう方向に行きますよという、最終的な終始一貫したもののなので、そういうことだったと思いますよ、コンセプトって。そんなに捉え方が違うというのはないと思います、言葉としては。採用してくれとかそういう意味じゃなくって、コンセプトっていうことはそういう意味ですよ。
- 教育長 だけど日本人にとって「コンセプト」ってブレがあるという話を彼は今してたんです。取りようがあると。

事務局 非常に捉え方によって難しい言葉でもあるなというイメージがあって、それでこういうふうなことにはしたんですけど。

教育長 どうしても「コンセプト」という言葉を使って、そのように書かれた方がいいですか、というのが私が聞きたい。

教育委員 それは皆さん全員の声だけでも。

教育委員 「コンセプト」にはこだわりはありません。たぶんこのとおりに行くかどうかはまだわからないので、こういうふうにしたいなという思いでしょ、基本的に。だから「コンセプト」という言葉を使っても入れなくてもいい。

教育長 教育委員会としてはこういう思いを整備計画としてまとめましたという感じです。「これに基づいて校舎を実質的に建てる方向でよろしいですか」と。で、途中で今度は実施設計やったりするときにいろんな要件が入ってくるので、これからちょっとずつ変わることは当然、デザインも変わることも有り得るというのはご承知いただきたいということです。

教育委員 中学校と一体化するとか、そこら辺の事は全然今度の議会には出ないということですよ。

教育長 これは出ますから、つまりですね、小学校を建てるんだけど、中学校の校舎も古いでしょと。一番古いのは中学校の校舎です。ただ大規模改修というか、改修してますからしばらくはもつでしょというので置いてある。だけど、一方で子どもの数が非常に減ってくる、激減してくると。そうしたら、2クラスあるんですよ、小学校。それで1クラスになると、半分、6クラス空いちゃうじゃないですか、単純な話。そうすると中学生3クラス、それに特別支援があってもどうにか収まるかなと。将来そういうことも考えておりますよということを基本計画の中に織り込んだという話です。

教育委員 教室の大きさというのは小中一緒なんですか。

教育長 大きめにとってあります。現在9m×7m、それを9m×9mにして、このコロナ禍でもありますからゆったりとした教室にしましょうと。それは小学校も中学校も一緒ですから。現状も一緒。

教育委員 今大きくなってるとでしょ、A4版の教科書になって。

事務局 そういうこととかもあるし、あとゆったりとっているのは、実は廊下がけっこう広くて、それは光を入れないといけないから。普通だと三朝の今の小学校みたいに片側が全部廊下だと、2mとかでも光が入るんですけど、敷地の関係で両方こうやってなってるので、その真ん中の廊下が結構広く取ってあるので、面積がちょっと大きく見えるんですけど、光の関係でそうなっています。あとは特別支援教室を、今6クラスなんですけど、新しい校舎では8クラスにしました。去年は7クラスだったんですけど、7つの症状でクラスを今分けなくてはいけなくて、よその学校とかにしても特別支援教室の不足で増築したりとか、そういう話を聞いておりますので、初めから8クラスあるんですけど、例えば一つ一つ全部違う症状のお子さんが来られた時にきちんと対処できるように最初からそのあたりについて多めに取らせていただいていますし、通級指導教室も中学校が入った時に、中部で2校しかないんですけどそのあたりもちゃんと部屋を確保したりとかしているんで、そういう意味でちょっと大きくはなっています。その特別支援教室というのが、10クラスとってるんで中学校3で小学校7の予定なんですけど、もしかしてもうちょっと中学校が増えるかもしれないというようなことで、増築するよりはいいので、ちょっと余裕を持った広さにしているところです。ちょっと広いという話が出たので。

教育長 ちょっと広いのは、コロナ対策だったり、A4版だったり、教室の1個1個のマス目のことだし、今言われるのは特別支援学級がすごく増えていると

いう話で、小中一緒になった時でも半分に間仕切りすればできるようなことを構想して、教室配置をしていると。1クラスが8人で、それがゆったりできるんじゃないかということだよ。で、通級教室もどうかすると小学校中学校と一緒に通級教室に通うということも可能かなという話も、私が個人的に思っています。通級教室を何個かやって、その中で通級の部門というか、そういうのができないかなと。可能性の話です。

教育委員

そこは言わない方がいいと思います。通級教室のあり方の根本に触れてきちゃうので、それは教育長の胸だけに収めておかれた方がいいと思います。ちょっとそこ言われちゃうということになっちゃうので。で、すいませんけど町の方では、最終的には町議さんたちは小中一緒の建物になるというところまでの話し合いも詰めておられないし、そういう方向性なんだということは今度初めて知られる？

教育長

いえ、小中一緒になることも想定したことを考えているというところまでは話はしてあります。さらの中で言っているわけじゃなくて、議員さんの中にも、かつては義務教育学校の校舎を造れとか、中学校も一緒にやっしまえという議論がずっとあった。

教育委員

この4番の方は議員さんには出したんですよね。4番の10ページの課題というのを議員さんたちには提示したんですよね。

教育委員

議員さんはほとんどこれ全部内容を知っていたよ。

教育長

で、この間この図面も議員さんは知っておられます。こういうふうなことで基本設計をまとめつつある、あとは計画書を作りますというところまでは。基本設計でこういう設計をしましたというところまでは。

教育委員

それってまだ一般のというか、議会にかける方向性は出てる？

教育長

出してあります。けどはつきり議会として認めましたという話では、さっきの条例の話になる。さらにコンセンサスを得ようと、合意を得ようとする努力をしてるだけの話。

事務局

だから未だに候補地の事についても合意を得てませんし、反対されている方もおられるかもしれません。だから詳しく書かせていただいた。

教育委員

だから合意を詰めていくための説明資料としてきちっと作られた？

事務局

そうです。

教育委員

僕は教育委員になって1年だけど、そのことは大体知ってる。今回のこの図面は初めて見たけど。

事務局

これはやっと出来上がったものです。

教育委員

たぶん議員さんもみんな知ってる。

教育長

そういう意味で1個ずつ積み上げてきているということなんですよ。だから別の言い方をすると、これはまとめてまとめてもらって、議員さんに向かっては「全部をまとめてこういう感じにしました」というような説明で済めば、それでいいとは思っていますけど。

教育委員

じゃあ全ての基本はわかっておられるけど、あと根拠の示し方が問題ですよということですよ。

教育長

で、住民に向かっての説明をするときに、これじゃわかりにくいというのは、教育委員さんの一番の主張です。

教育委員

住民にわかりやすい説明をすれば済むことです。

教育長

だからさっき教育委員さんがおっしゃったように、パワポなんかを作ってわかりやすい説明に心がけて、冊子としてはこのような冊子ですけどというようなことになるのかなと思ってるんですけど、それを概要版みたいなので1枚物にね。そうすると前の所はいらなくて、正味計画の中身だけをかいつまんでお知らせすれば、そうすると芦田さんが言われたのも、町民の人に

はこういう建物を造ろうとしているんだよということだけをお伝えするということになるのかな。

教育委員　　で、小中一緒になったらこんなメリットがありますよ、だからこうしたいんですよということをしっかり伝えればいいと思います。

教育長　　そこはあんまり言うとな義務教育学校の論議とですね、小中併設型というか一貫校と連携校と、そういう話になってきて、それはこの中でしっかり議論してないので答えようがないんですよ。

教育委員　　とりあえず、さっき教育長が言われたけど、私たちは「小中連携」で止まっているんですよ。それを強めていくという形の表現にしている。

教育長　　そこで必要だったら義務教育学校も言ってもいいけど、ただ義務教育学校となるとカリキュラムを自由に組んじゃうでしょ。そうすると移住定住のところでは、三朝町にとってはあまりよくないかなというのが、ぼんやりとした話を今までさせてきています。とりあえず連携を深めていこうという考え方です。

教育委員　　でも連携を深めていこうという議論はされているということですよ。

教育長　　それを説明するための、教育委員会としてのまとめたものはまだできてないです。言葉としては文科とかいろんなところの引用で、ぼんやりとさっき書いてあったようなものは適当に出しているということなんですけど、一般論としてですね。三朝町の抱える独特の課題としての小中連携ということにはまだなってないです。

事務局　　5ページの「みささっ子教育ビジョンより」は再掲なのでここは削るんですけど、「その取り組み内容について7項目例示します」ということで、実際今しているのが7項目なんですけど、ここも削除します。あとの言葉につきましては、大変わかりにくいかもしれませんがこれで説明に向かわせていただけたらと思います。

教育委員　　最初の「本町では（中略）行き過ぎた少人数」というのは変えていただきたい。

教育長　　「行き過ぎた」というのはきつ過ぎる。僕もちょっとそう思った。力を込めすぎちゃっているなと思って。「児童生徒の減少に伴って」というくらいかな。

事務局　　わかりました。

教育長　　それくらいでいいんじゃないですか。さらっと。事務局の思いの走りがちょっと入ったんじゃないですか。なら、そういうようなところでちょっともう1回協議させてもらって、全体的には今議論されたこと以外はこのままでさせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

事務局　　まだちょっといいですか。

教育長　　申し訳ないですけど、定例会は9時から5時までと会議規則に書いてあるんですけど、臨時は今回スタートは決めてましたが終わりは決めてなかったので、もうしばらくよろしいでしょうか。

事務局　　すみません。内容は教育長の方が言いましたとおり、先ほどの修正をしたところで総合教育会議にかけさせていただきたいと思います。それで、前回お配りしているパブリックコメントの考え方につきましては、総合教育会議が終わった後で議会に協議をかけさせていただいて、その後にこの基本計画に対してのパブリックコメントを再度実施をさせていただきます。その時に公表についてはそこに置かせていただくことと、ホームページに掲載させていただきます。町報にはなかなか全部載せることができませんので、そういうようなことで考えております。あと保護者・住民等の説明会を11月9日に開催予定としております。普段だったら出席者の事とか別に関係なしに当

日来ていただければいいんですけど、今コロナの関係もありますので、万全を期するために事前に出席者を把握して、その人数によって会場の設定をしたりとか、あともし万が一コロナが発生したときに速やかに連絡が取れるように、事前に出席人数を把握させていただく方向でしたいと思っております。以上です。

教育長

最後に何か言い忘れたことなりがあったら報告いただいて終わりにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

教育委員

終わってください。

7 その他

教育長

その他で事務局から何かございますか。

8 閉会

教育長

それでは、以上をもちまして令和2年第4回三朝町教育委員会臨時会を終了させていただきたいと思っております。

午後5時10分